

聖隷学園では、2020年4月に聖隷クリストファー小学校を開校する予定です。本小学校はキリスト教精神に基づく隣人愛を基盤に、英語イマージョン教育・探究型の学びを実践し、グローバル社会で活躍する人材を育成します。今後、聖隷学園ではこども園から小・中・高等学校、専門学校、大学、大学院博士後期課程まで連携した英語教育を展開し、一貫したグローバル化の構築を推進する計画です。

小学校の概要

- 1) 開 校 2020年4月
- 2) 場 所 聖隷クリストファー中・高等学校校舎
南側に新校舎(4階建て)建築予定
- 3) 入学定員 1学年60名(2学級×30名)
2020年度は1、3、5年生を募集予定
- 4) 収容定員 360名
- 5) 学級担任 担任2人制(日本人1名、外国人1名)



南側からのイメージ 手前が小学校校舎

◆聖隷クリストファー小学校の特徴

英語イマージョン教育

イマージョンは「浸る」という意味です。英語を学ぶことが目的ではなく、英語「で」学ぶことで知識を習得します。多国籍の教員による英語環境で、子どもたちの高い適応能力で自然に英語になじんでいきます。国語、社会、家庭科の一部を除き、授業は英語で行う予定です。

探究型学習

従来の学校教育に捉われない、児童の学ぶ力を引き出す教育=探究型学習を行います。1学級30名に対し、2名の教員(日本人教員・外国人教員)を配置し、多国籍の教員の異なる文化、習慣、価値観に触れながら、主体的な探究型学習に取り組んでいきます。

詳細は聖隷クリストファー小学校ホームページをご覧ください。

<https://www.seirei.ac.jp/elementary-school>



国際リハビリテーション研修派遣・受入プログラム

2017年9月に交流協定を締結したシンガポール工科大学(SIT)と、初めての国際リハビリテーション研修を実施しました。5月27日～6月1日の間、SITのヘルスソーシャルサイエンス学部理学療法・作業療法学科生25名と教職員2名が来学しました。また、8月15日～23日の間、本学リハビリテーション学部理学療法・作業療法学科生12名と教員2名がSITを拠点とする研修に参加しました。期間中は学生交流のほか、学内での講義や演習、リハビリテーション関連施設の訪問などを通して、両国の保健医療およびリハビリテーションについて学びを深めました。



本学学生(SITにて)



SIT学生(本学にて)

2018年度海外研修・国際実習一覧

本学では、保健医療福祉に関わる様々な海外研修・国際実習を行っています。

	派遣先教育機関	派遣時期	受入時期
交流協定締結校	シンガポール工科大学(シンガポール)	8月	5月
	ナンヤン理工学院(シンガポール)	9月	3・9月
	イーデス・コーワン大学(オーストラリア)	2月	—
	陸軍軍医大学(中国)※旧第三軍医大学	2・3月	3月
	サミュエルメリット大学(アメリカ)	3月	6月
	カトリックサンジ大学(韓国)	今年度なし	—
その他	中山大学(中国)	2～3月	—
	チェンマイ大学(タイ)	2～3月	12月
	ハワイ大学マノア校(アメリカ)	3月	—
	テキサスA&M国際大学(アメリカ)	—	7月

※対象となる学部・学年が異なります。詳しくは、グローバル教育推進センターのホームページをご覧ください。
<https://www.seirei.ac.jp/iess/>

学報

◎聖隷クリストファー大学
◎聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校
2018.12
Vol.52

特集 聖灯祭&ホームカミングデー

先輩に聞け! 私たちの
国家試験合格ストーリー／就職・進学支援

聖隷クリストファー生の 専門学校生の
日常図鑑 聖隷ライフ

クリストファーニュース／専門学校生の就活体験記
聖隷学園日より／私の教育・研究／後援会から



イスラエルの長老は全員集まり、ラマのサムエルのもとにきて、彼に申し入れた。「あなたは既に年を取られ、息子たちはあなたの道を歩んでいません。今こそ、ほかのすべての国々のように、我々のために裁きを行う王を立ててください。」

裁きを行う王を与えよとの彼らの言い分は、サムエルの目には悪と映った。そこでサムエルは主に祈った。主はサムエルに言われた。「民があなたに言うままに、彼らの声に従うがよい。彼らが退けたのはあなたではない。彼らの上にわたしが王として君臨することを退けているのだ。彼らをエジプトから導き上った日から今日に至るまで、彼らのすることといえば、わたしを捨てて他の神々に仕えることだった。あなたに対しても同じことをしているのだ。今は彼らの声に従いなさい。ただし、彼らにはっきり警告し、彼らの上に君臨する王の権能を教えておきなさい。」

サムエル記上 8章4-9節

旧約聖書のサムエル記上8章には、神に選ばれた民イスラエルが新たな歩みを開始したことが記されています。出エジプトを果たし、神が約束した乳と蜜の流れる地(カナン^{カナン}の美称)に到達したイスラエル12部族は、士師(裁き司)を中心にした宗教連合部族共同体(アンフィクチオニー)として歴史を築いていきます。

そのような中、イスラエルの全長老が一堂に会し、祭司にして士師サムエルに「ほかのすべての国々のように、我々のために裁きを行う王を立ててください」と懇請するのです。長老たちが、目に見え、「絶対的権力を持ち、民を導き、裁判の責任を負う」王を即位させるべきであると主張したのは、時代の要請であり、最敵解な施策であるかもしれませんが。「人間の道は自分の目に正しく見える。主は心の中を測られる。(箴言21章2節)」のです。神は、長老たちの胸奥にある思いを看破します。彼らは神がイスラエルの王として君臨することを拒否し、神ならぬ神々を擁立しようと画策している、ということです。

詩編115編には、人間が作り出す偶像について述べられています。詩篇記者は「偶像を造り、それにより頼む者は 皆、偶像と同じようになる」と告げています。偶像とは物だけではありません。「高慢は偶像崇拜に等しい。(サムエル記上15章23節)」ことが分かります。近隣諸国と競合するために神慮よりも人間の思惑を優先したイスラエルは、初代の王として眉目秀麗な若者サウルを擁立し、ダビデ、ソロモンへと継承され、この世の栄華を極めていきます。ところが、その直後から神に選ばれた民イスラエルは近隣諸国の脅威に晒され、最後には彼らの存在の根拠であるエルサレム神殿を失っていくのです。

主なる神はイスラエルに「主の戒めと掟を守って、あなたが幸いを得ること(申命記10章12節以下)」を求め続けておられます。自分たちの企てが思い通りに進展している時こそ、神の御旨を聴きながら歩むことの大切さが求められています。



ながい えいじ
聖隷学園宗教主任 永井 英司

本学が看護師特定行為研修機関として、厚生労働省より指定を受けました

超高齢社会を迎え、看護師は利用者の立場に立って「利用者が必要な時にすぐ点滴などのいくつかの治療を提供できる」、「いつまでも自宅で安全安心に暮らせるための支援をできる」ことをより強く要求されるようになりました。そこで、

看護師がさらに医学的な知識や技術を高めることが必要となり、2015年から特定行為研修制度が発足されました。

本学は社会の要求に応じて、人々が安全安心に暮らせる、隣人愛に根ざした地域医療を支える看護師を育成する

目的をもって、2018年8月30日付で特定行為研修機関として指定を受けました。現在、2019年度からの開講に向けて、多くの機関と協力しつつ、看護師が働きながら学びやすい環境を準備しています。

2019年4月、こども教育福祉学科に小学校教諭教職課程を設置します

社会福祉学部こども教育福祉学科では、これまで「子どもに関わる国際水準の教育・保育の専門性と、こども・家庭・地域の福祉に関わる専門性を兼ね備え、国際的な視点に立って多様な人々が支え合い、学び合い、育ちあうという地域共生社会を実現できる実践力をもったこども教育福祉の専門職の養成」という目的のために幼稚園教諭(1種)の養成と併せて保育士養成に取り組んできました。

この度、「小学校教諭教職課程」を

設置し、行政、心理・福祉等の専門機関、地域住民と連携しながら、グローバ

ル化社会の中で多様な子どもたちの育ちを支える小学校教員を養成します。

2018年度	保育士 資格	幼稚園教諭 1種免許	社会福祉士国家試験 受験資格
2019年度	保育士 資格	幼稚園教諭 1種免許	小学校教諭 1種免許

その他に取得できる資格

- ◎児童指導員任用資格 ◎社会福祉主事任用資格
- ◎初級障害者スポーツ指導員 ◎ネイチャーゲームリーダー

2019年4月、リハビリテーション学部国際リハビリテーションコースを設置します

リハビリテーション学部では、「科学的根拠に基づいた確かな技術と豊かな人間性」を兼ね備えた人材育成に取り組んできました。現在の日本は急速なグローバル化が進み、保健・医療・福祉の現場でも国際的な課題解決が必要とされています。

2019年4月、リハビリテーション学部内に国際リハビリテーションコースを設置し、「国際的な保健医療福祉の課題解決」ができるグローバル人材を育成します。

めざす人材像

- ・国内外で外国人に対する支援活動ができる
- ・グローバルな活動をしている組織・部門等に携わることができる
- ・留学や大学院に進学ができる
- ・国際共同研究の実践や国際学会で発表、英語で論文発表ができる
- ・国際的な実践活動を経験し、グローバル教育ができる

4年間で身につける力

- ・英語I～Vを修了し、国際活動に必要な語学力を習得できる
- ・国内外の臨床施設において、外国人利用者や訪問者と対話し、初歩的な問診・評価・治療ができる
- ・渡航に必要な情報を収集し、海外情勢の把握、文化の理解ができる
- ・英語による研究発表ができる(卒業研究)
- ・国外の文献を検索し、内容を理解できる

「同窓会in神戸」を開催しました

9月15日、昨年の東京に続き、今年は神戸で「同窓会」が開催され、兵庫、大阪、京都、滋賀の卒業生を中心に、遠くは長崎からの参加者がありました。関西地区での医療・福祉関係の話題や当時アルバイト先が同じだった、同じ下宿に住んでいたなど、学生時代を懐かしみな

がら世代を超えた交流がみられました。大学では11月にホームカミングデーを開催しています。しかし遠方でなかなか参加できないという卒業生の声に応じて同窓会組織が各地の卒業生を支援する活動として行っている行事のひとつです。

大学からは同窓会顧問の大城学長をはじめ、藤本看護学部長、矢倉就職部長など8名の教職員が参加しました。大学では、このように同窓会組織と共に卒業生の様々な交流の機会を作り、卒業後も専門職者として活躍できるよう支援し、地域の保健医療福祉の質の向上に貢献しています。

[特集] 聖灯祭・ホームカミングデー 11.3

第17回 聖灯祭 テーマ「The Love Bugs」

11月3日、聖灯祭を開催しました。在学生、卒業生・修了生、教職員から近隣の福祉施設の方、周辺にお住まいのお子様からご高齢の方まで、大勢の方にご来場いただき交流することができました。特設ステージを設け、多くの模擬店が並んだ中庭をはじめ、キャンパスのいたるところで参加された皆様の笑顔や笑い声があふれ、大変にぎわいをみせた一日となりました。



模擬店



子育てひろばたっくん



模擬店・サークル発表など

各サークルや有志の学生による出店のほか、多くの社会福祉施設による「ふくし楽市」が開かれ、大盛況でした。野外特設ステージではダンスや演奏、コントなどの発表、各教室では茶道サークルによるお茶会や美術サークルの作品展示、高齢者や障がいがある方たちが製作した絵画や手工芸品の展示などがありました。



軽音サークルライブ



茶道サークル



お笑いライブ(理学療法学科)

健康祭

看護学部・社会福祉学部・リハビリテーション学部各学科の学びの特色が活かされたブースが設けられました。



看護学部



社会福祉学部



理学療法学科



作業療法学科



言語聴覚学科

社会福祉学部こども教育福祉学科がくくくでは、地域のお子様と保護者の方をました。

主催した「子育てひろばたっくん」では、地域のお子様と保護者の方をました。

HOME
COMING
DAY
2018

ホームカミングデー

第12回目となるホームカミングデーを聖灯祭と同日で開催しました。ホームカミングデーは、短期大学、ヘルパー学園、専門学校、大学学部・大学院すべての卒業生・修了生の皆様に母校に戻り、本学の現在の様子を知っていただき、実践や研究・研修の拠り所として、また保健医療福祉の最新情報や人材情報の交換拠点として母校を活用していただきたい、そして同窓生や先輩・後輩と旧交を温め、教職員と交流していただきたいと考え開催しています。大学にてウェルカムセレモニーや勉強会・交流会などを行ったのち、会場をオークラアクティビティホテル浜松に移しパーティを行いました。今年は307名の卒業生・修了生がお越しくださいました。



ウェルカムセレモニー



領域ごとの勉強会・交流会

パーティ

看護系、社会福祉系、リハビリテーション系の領域ごとに分かれて開催した勉強会・交流会では、それぞれにテーマを設け、学年・世代を超えた様々な意見交換・交流を行いました。



看護系



社会福祉系



リハビリテーション系

ホームカミングデー2018 実行委員長

さいとう ただし
齋藤 直志さん

聖隷学園浜松衛生短期大学
第一衛生看護学科 1978年度卒業



ホームカミングデー2018にご参加いただいた皆様、準備にご協力いただいた大学・専門学校の先生方、事務局、実行委員の皆様が無事開催できましたことをお礼申し上げます。ホームカミングデーを通して、発展し続ける大学の姿に驚きましたし、全国で卒業生が活躍し、我が国の保健医療福祉の発展に貢献していることも強く感じました。そんな母校があることは誇りですし、卒業後に学びの必要性を感じた時などに拠り所となる場所があることは大きな財産です。ホームカミングデーがヒューマンネットワークの拡大や専門職としての成長の場として何らかの糸口になったのであれば嬉しく思います。

聖灯祭実行委員長

(左より)

みやぎ かな
宮城 加菜さん
看護学部
看護学科 2年次生

やまもと りゅうせい
山本 流生さん
リハビリテーション学部
理学療法学科 2年次生

本年度の聖灯祭のテーマ「The Love Bugs」は、「一瞬のトキメキ」という意味です。聖灯祭に関わる全ての人々が一体感を持ち、今年の聖灯祭を成功させたいという思いを込めてこのテーマに決定しました。



聖灯祭実行委員会 庶務担当

もりもと な お
森元 菜緒さん
看護学部
看護学科 2年次生

室内展示団体の管理、聖灯祭看板、授乳室、実行委員のTシャツ作成を行いました。授乳室は使いやすい設置や配慮、装飾を意識して準備しました。また、多くの人の笑顔を見ることができたのでとてもやりがい



学友会 副会長

かとう かずき
加藤 和希さん
社会福祉学部
介護福祉学科 2年次生

聖隷歴史資料館での説明やスタンプラリーを行いました。景品の風船は、ひとりでも多くの子供たちに喜んでもらえるように、メインのものだけでなく予備も準備しました。子どもだけでなく高齢者の方も御来場いただいたので、どのような世代の方にも分かりやすい説明を心がけました。



聖灯祭実行委員会 広報担当

くらの しゅんすけ
蔵野 駿介さん
リハビリテーション学部
作業療法学科 2年次生

パンフレット・チラシ・ポスターの制作を担当しました。完成に至るまで大変でしたが、よい経験になりました。当日は他の担当や、自分のクラスの模擬店の手伝いをしました。聖灯祭片付けの後、後夜祭にも参加し、楽しかったと同時にとても疲れました。



3年次生へのキャリア支援プログラムについて

学生の皆さんは授業や実習を経験する中で、関心のある分野や領域を見つけ、卒業後の進路を決定していきます。看護学部とリハビリテーション学部では1月～3月にかけて、社会福祉学部は11月～3月にかけてさまざまな就職支援プログラムを実施しています。内定を得た4年次生から経験談を聞く「就職活動報告会」は全学部で開催しており、「就職先の決め方や3年次生で取り組んでおくべきことがわかった」などの感想が聞かれ、良い刺激になっているようです。

●看護学部

3月に学内で2日間に渡り病院説明会を行います。聖隷グループの病院、また静岡県内・東三河地区の病院から採用担当者や卒業生にお集まりいただくため、一度に多くの病院の説明を聞くことができます。

●社会福祉学部

卒業生による仕事の報告会や、懇談会を開催します。1月には履歴書の書き方・面接の受け方講座も予定しています。3月には「施設説明会」を開催する予定です。

●リハビリテーション学部

2月～3月に「就職マナー・面接対策講座」を実施します。また「スーツ・メイクアップ講座」の開催時期を従来より早めて実施します。「病院・施設説明会」は4年次生の8月に開催する予定です。

国家試験対策

各学部の国家試験対策委員会が、年間計画を立てて支援を行っています。学内教員による講座や個別フォローに加え、外部講師による長期・短期の講座、模擬試験などを実施しています。

WEBキャリア支援センターのご紹介

・求人情報の提供

大学に届いた求人情報は、求人情報配信システムに登録することで、メールにて配信しています。学生・卒業生だけでなく、保護者の皆様にもご登録いただけます。大学ホームページ内「WEBキャリア支援センター(<https://www.seirei.ac.jp/webcareer/>)」からどうぞ。



・キャリア図鑑

さまざまな分野で活躍している先輩(卒業生)の声を聞くことで、将来の職業イメージと専門職としてのキャリアのイメージを膨らませることができるよう支援しています。このページでは、専門職としてのやりがいや魅力、将来の夢、その領域を選択した理由、後輩へのメッセージなど「先輩の声」をお伝えしています。

大学院への進学について

聖隷クリストファー大学大学院は、看護学、リハビリテーション科学、社会福祉学の博士前期課程・後期課程として、それぞれの学問分野の教育・研究の一貫性を強化し、高度かつ専門的な学識と研究能力および人間性を備えた、広く人々のニーズに応える、そして世界に通用する高度専門職業人の育成を目指しています。

大学卒業後すぐに専門性に磨きをかけるため進学することもできますし、卒業後に専門職者として働きながら学ぶこともできます。

お問合せ先

聖隷クリストファー大学 キャリア支援センター
TEL:053-436-7233 FAX:053-437-6782
E-mail:career@seirei.ac.jp
<https://blg.seirei.ac.jp/ssk/>

速報

2018年度卒業・修了予定者の内定状況

2018年度に卒業・修了する学生のうち、就職希望者は348名で、内定が決まった学生は302名、内定率は86.8%です。その他、助産学専攻科などへ進学が決まった学生は11名です。

社会福祉学部の医療ソーシャルワーカー、精神科ソーシャルワーカーを希望している学生やリハビリテーション学部の学生は、9月以降に選考が本格化するため、現在、採用選考の途中で結果を待っている、これから採用試験を受験するところ

(2018年11月26日時点)		卒業 予定者数 (名)	進学 決定者数 (名)	就職 希望者数 (名)	就職 内定者数 (名)	就職 内定率 (%)
看護学部		155	11	143	137	95.8
助産学専攻科		17	0	17	16	94.2
社会福祉学部	社会福祉学科	34	0	34	31	91.2
	介護福祉学科	12	0	11	11	100
	こども教育福祉学科	39	0	39	36	92.3
リハビリテーション学部	理学療法学科	38	0	37	27	73.0
	作業療法学科	36	0	36	29	80.6
	言語聴覚学科	31	0	31	15	48.4
大学計		362	11	348	302	86.8

先輩に聞け! 私たちの 国家試験合格ストーリー

国家試験に合格するためにどのような勉強をしたのか、先輩たちに語っていただきました。

国家試験に触れずにいてくれたことがうれしかった

国家試験対策として、まずは模試などの見直しから入りました。自分がどういう風に考えて回答したのか覚えているうちに見直しをすることで、考え方の間違いや知識が足りない部分に気づくことができたと思います。また、勉強中は家族が国家試験のことにあまり触れずにいてくれたことがうれしかったです。基本的に大学で勉強することが多かったため、家に帰ることで気を休めることができていました。今年度国家試験を控えている受験生の親御さんは、お子様が頑張っていることを認めてあげてください。私も国家試験が近づいて徐々に焦りが出てきましたが、それだけで十分頑張れました。

おおいし しゅんや
大石 隼也さん

- 勤務先：聖隷三方原病院
- 取得資格：看護師
- 2017年度 看護学科卒業
- 静岡県立浜松湖東高校出身



ゼミの先生や厳しい友人がいたからこそ乗り越えられた

実習や卒論、これからの人生を決める就職活動と国家試験…。小さなころからのんびり屋だった私にとって、4年次は悩みの尽きない1年でした。それと同時に、多くの人に支えられていることを実感した学生生活締めくくりの1年でもありました。私自身も気付かずにいた本音を聞き出してくれるゼミの先生や、勉強に関して妥協を許さない厳しい友人がいたからこそ乗り越えられたと思います。そして大学の利用可能時間目一杯、朝から晩まで学内で勉強し、家では一切テキストを開かず、勉強姿を一度も見せなかった私を信じてくれた家族にも感謝をしています。

あさくら まりこ
浅倉 万里子さん

- 勤務先：子ども発達センター たつく
- 取得資格：社会福祉士、保育士、幼稚園教諭
- 2017年度 こども教育福祉学科卒業
- 浜松海の星高校(現 浜松聖星高校)出身



家族の存在がとてもありがたかった

私は4年次の9月頃から参考書、過去問を使って国家試験の勉強を始めました。私が一番役に立ったと感じている大学の国試対策プログラムは「篠原ゼミ」という1週間ほどの集中講義です。今まで勉強してきた知識を改めて勉強し、頭の中で整理することができました。国家試験直前は夜遅くまで大学で勉強し、自宅に帰るのは夜10時頃になることもありました。自宅に帰ると、夕食を作ってくれていて、悩みや不安を聞いてくれる家族の存在がとてもありがたかったです。現在は浜松市リハビリテーション病院で作業療法士として楽しく働かせていただいています。

はかまた
袴田 しずくさん

- 勤務先：浜松市リハビリテーション病院
- 取得資格：作業療法士
- 2017年度 作業療法学科卒業
- 静岡県立浜北西高校出身





浜松市との 連携事業



本学は、浜松市が企画・推進する事業「浜松市と大学との連携事業～大学生による講座」に参画しています。本事業は、市民と大学生が生涯学習を通じて自分の成長や能力の向上を図る学習活動(生涯学習)を推進し、その学びの成果を地域づくりにつなげていくことが目的となっています。本学は2017年度より当連携事業に参画し、2017年度は12回の講座を、今年度は13講座全22回を実施し、多くの市民の方々に参加いただきました。

講座名	対象	担当学科	会場
英語を楽しもう ～Let's enjoy English!～	幼児～小学生	全学科(英語サークル)	中瀬協働センター
赤ちゃんを沐浴しよう!	妊産婦とその家族	看護学科	南部協働センター
おなかの赤ちゃんをひよこりのぞいてみよう!	小中学生	看護学科・助産学専攻科	水窪協働センター
自分の走力を高めよう!～体の仕組みや使い方を理解して～	小学生	理学療法学科	北浜南小学校
脳トレや体操に取り組んで心も体も元気に! ～健康寿命を延ばすには～	高齢者	理学療法学科	蒲協働センター・県居協働センター 北部協働センター
認知症予防 ～海馬を鍛えよう!～	どなたでも	作業療法学科	和地協働センター・富塚協働センター 浦川ふれあいセンター・佐鳴台協働センター
遊びながら器用になろう!～からだ遊びとものづくり～	乳幼児と保護者	作業療法学科	春野協働センター
軽度認知障害を知って認知症を予防しよう	高齢者	言語聴覚学科	竜川ふれあいセンター・高台協働センター
高齢者に急増、『誤嚥性肺炎』を予防する	高齢者	言語聴覚学科	熊ふれあいセンター・浜名協働センター
東京パラリンピックに向けて～“ポッチャ”を知ろう!～	小学生～成人	社会福祉学科	入野協働センター
シャボンラッピング	児童～高齢者	介護福祉学科	曳馬協働センター・天竜協働センター
《造形による遊び》トリック・オア・トリート ～お化けに変身～	幼児～小学生	こども教育福祉学科	三方原協働センター・水窪協働センター
音楽でつなごう友達の輪	幼児～小学生	こども教育福祉学科	南陽協働センター

全学科 (英語サークル)

英語を楽しもう ～Let's enjoy English!～

英語サークルGlobal Englishの学生が講師となり、年少～小学校4年生までの子どもたちを対象に「英語であそぼう～Let's enjoy English!～」を開催しました。シールを集める自己紹介ゲームで始まり、単語カード、英語の歌(BINGO)、じゃんけん列車ゲーム、絵本の読み聞かせなど、あっという間の90分でした。目をキラキラ輝かせて取り組む子ども達との交流は学生の皆さんにとっても大きな喜びと自信になったことでしょう。



理学療法学科

自分の走力を高めよう! ～体の仕組みや使い方を理解して～

50m走の記録向上を目的に理学療法学科1年次生が講師となり、走り方や速く走るためのポイントを小学生に指導しました。体育の授業という限られた時間の中で①つま先で弾む、②はさむ、③おす、の3つのポイントを見事にわかりやすく教えることを心がけ、学生は一人ひとりに視線を合わせ、笑顔で声掛けをしていました。「速くなりそう」、「これからもやってみよう」という感想をいただきました。



介護福祉学科

シャボンラッピング

介護福祉学科4年次生により「シャボンラッピング」の講座を実施しました。部屋をローズの香りに満ち、BGMはオルゴール曲など五感に訴えるリラックス環境を整えました。指先を使ったアイスブレイク、シャボンラッピング効用のタッチングやリカバリングについて説明した後、学生が泡を作り、参加者の方に泡の気持ちよさ、香りなどを体験していただきました。「手先からリラックスでき、香りも良く大満足した」との嬉しい感想をいただきました。



聖隷クリストファー生の

日常図鑑

勉強、食事、バイト、オフタイム…。クリストファー生たちはどのような大学生生活を送っているのでしょうか?

①どんな勉強してる? ②どんなバイトしてる? ③昼食はどうしてる? ④休日の過ごし方は?

かとう ひなこ
加藤 日奈子さん
社会福祉学科2年次生
静岡県立浜松商業高校出身



①社会福祉や精神保健福祉士などに関する勉強をしています。実習も充実しています。



②放課後児童館と回転寿司、結婚式場でバイトしています。



③お弁当か、友人と近くのお店に食べに行きます。病院近くのカレー屋さんがお気に入りです!



④休日はほとんどバイトをしますが、お金が貯まると海外に旅行に行きます。



すずき はるな
鈴木 晴菜さん
看護学科3年次生
茨城県立土浦第二高校出身



①看護の勉強と養護教諭の免許を取るための課程を取って勉強しています。



③昼は節約のためにお弁当を作っていますが、時間がない時は売店や食堂を利用します。



②大学の隣にある病院と病院内にあるカフェでバイトしています。



④バイトやお出かけをしたり、長期休みは友達とよく旅行に行きます。

勉強もプライベートも好きなことで満たされています。

しんどう あたる
進藤 中さん
理学療法学科2年次生
静岡県立袋井高校出身



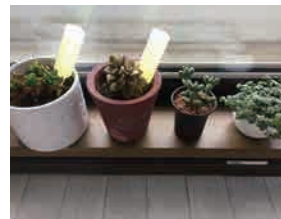
①人体を構成する骨や筋肉の位置を手で触ることで確認しています。



②デイサービスでのバイトで高齢者の方と会話をしたり一緒に運動を行っています。



③いつもは食堂で学食を食べていますが、学外に食べに行くこともあります。



④最近は植物を育てるなどしてゆったり過ごしています。





要介護高齢者の自立性回復に向けた支援と 日本型介護福祉の海外展開

社会福祉学部介護福祉学科長・教授

ふるかわ かずとし

古川 和稔

【プロフィール】プロのコメディアンとして8年間活動。27歳の時に介護職員として福祉施設に就職し、その後、理学療法士として訪問リハビリテーションに従事。宇都宮短期大学准教授を経て現職。

最終学歴／国際医療福祉大学大学院博士後期課程修了 博士(医療福祉学)
所属学会／日本介護福祉学会、日本自立支援介護・パワーリハ学会、日本理学療法士協会 他



——先生の学びのきっかけと専門分野について 教えてください

私は1996年に高齢者福祉施設に就職しました。当初は高齢者と関わる仕事がただ楽しく、何の疑問もたずに一生懸命働いていました。しかし数年後、疑問に感じることが出てきました。例えば、車椅子から立ち上がろうとする利用者に対して、ある職員は「危ないから立たないでください」と言い、別の職員は「一緒に歩きましょう」と言うのです。どちらが正しい支援なのでしょう。従来の介護福祉の学びだけではこのような疑問を解消できず、34歳の時に理学療法士養成校に入り直しました。そこでの学びが現在の研究の基礎になっています。専門分野は、要介護高齢者の自立性回復に向けた支援と、諸外国の高齢化への対応です。

——大学院ではどのような学びができますか

介護福祉の世界は、従来のお世話型から自立支援型に大きく転換しています。要介護状態にならないための支援や、たとえ要介護状態になっても、再び自立性を取り戻すための支援方法が確立しつつあります。多くの研究



者や実践者とこのテーマに取り組んでいます。理論だけ確立しても意味がありません。自立支援を実践することが重要であり、そのためには高度な知識と技術を兼ねそろえたスタッフが必要です。実際の支援場面では介護福祉士が中心になりますが、理学療法士、看護師、栄養士などとの連携も重要です。このような考えのもと、大学院では様々な職種の方々と一緒に、多角的に高齢者の自立支援について学ぶことを意識しています。また、急速な高齢化が進む東アジア諸国では、この自立支援型の介護福祉実践に対する期待が高まっています。今年度は韓国、シンガポール、ベトナムを訪問し、現地の研究者や実践者と意見交換してきました。大学院では、このような国際的な視点も取り入れたディスカッションも行います。

——現在取り組まれている研究や活動について 教えてください

ICTを活用して、家族介護者、居宅介護支援のケアマネジャー、そして自立支援に取り組む事業所がリアルタイムで情報を共有できる支援モデルの構築に取り組んでいます。3年計画の研究の成果として、日々の食事摂取量、水分摂取量、排泄、活動などの基本情報を利用者や家族が入力すると、そのデータが専用のウェブサイト上に時系列に保存され、事業所やケアマネジャーがリアルタイムでモニタリングできるウェブシステムを開発しました。今後は、このウェブシステムを用いた在宅生活継続支援モデルを構築していきます。全ての高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で、最期まで自分らしい暮らしを続けられることを目指した支援モデルです。

大学院生や地域の専門職者を対象にした
自立支援介護実践講座で講演する古川教授

研究助成

■2018年度 科学研究費助成事業 新規採択結果

科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金)は、人文・社会科学から自然科学までのあらゆる分野にわたり、独創的・先駆的な研究を発展させることを目的とする公募型研究助成制度であり、「競争的研究資金」としては日本国内で最大規模の制度です。

本学でも科学研究費獲得に向けた様々な取り組みを実施し、2018年度は新規に16件の研究課題が採択され、継続課題31件と合わせ、大学として47件の採択件数となりました(研究代表者としての採択件数のみ、延長課題を含む)。

2018年度の科学研究費助成事業配分額は、全国約1700の研究機関の内、263番目となっております。

※文部科学省「平成30年度科学研究費助成事業の配分について」
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/hojyo/1410868.htm

学部など	領域・学科	職位	研究代表者	研究種目	研究課題
看護学部	成人看護学	教授	豊島由樹子	基盤(C)	医療療養病床をもつ病院の地域連携室看護師における在宅療養移行支援モデルの開発
		准教授	大山末美	若手	身体疾患を有する患者の心理的アセスメントにおける看護学生パフォーマンス評価の開発
	小児看護学	講師	小出扶美子	基盤(C)	小児の痛みを伴う処置時の家族参加のガイドライン作成
	公衆衛生看護学	助教	伊藤純子	基盤(C)	超高齢化ニュータウンにおける主体的な予防活動の動機づけ支援看護介入プログラム構築
		助教	若杉早苗	基盤(C)	被災直後の混乱期対応に有効な保健師の健康危機管理支援ツールと研修プログラムの開発
	在宅看護学	准教授	山村江美子	基盤(C) 特設分野	看取り家族が語るライフヒストリー再構成化への効果的支援方法の開発
	教養・専門基礎	教授	熊澤武志	基盤(C)	母乳に含まれるビタミン候補物質ピロロキノリンキノンの高感度分析法の開発とその応用
		准教授	安田智洋	基盤(C)	サルコペニアの早期予防と重症化防止を目的とした簡易評価法の構築
社会福祉学部	社会福祉学科	教授	福田俊子	基盤(C)	実践共同体における社会福祉実践の継承過程の構造—中動態における事象に着目して—
	介護福祉学科	教授	横尾恵美子	基盤(C)	介護職と管理職でつくる仕事のやりがいと経営安定が両立する職場改善プログラムの開発
	こども教育福祉学科	教授	鈴木光男	基盤(C)	S-HTP法によるカンボジアの幼児・児童の描画活動に関する実証的研究
リハビリテーション学部	言語聴覚学科	教授	柴本勇	基盤(C)	舌骨上筋群表面筋電位パターン解析を用いた市販食品分類
		教授	谷哲夫	基盤(C)	思春期吃音児の自己肯定感促進要因の検討～社交不安障害や自死の防止を目指して～
		助教	佐藤豊展	基盤(C)	舌運動による喉頭挙上訓練法の開発—舌骨上筋群の筋力強化プログラムの検討—
	教養・専門基礎	教授	津森伸一	基盤(C)	リハビリテーション専門科目への接続を図る入学前・初年次物理学習プログラムの開発
聖隷三方原病院		臨床講師	森雅紀	基盤(B)	患者・家族と創る日本版アドバンス・ケア・プランニング～人生最終段階の幸せを支える

科学研究費の研究種目

基盤研究

1人又は複数の研究者が共同して行う
独創的・先駆的な研究(期間3～5年)

応募額によりA・B・Cに区分

(A)2,000万円以上5,000万円以下
(B)500万円以上2,000万円以下
(C)500万円以下

若手研究

博士取得後8年未満もしくは、39歳以下
の研究者が1人で行う研究(期間2
～4年、500万円以下)

■2018年度 学外助成金 新規採択結果(科学研究費以外)

学部	領域・学科	職位	研究代表者	配分機関	研究課題
看護	老年看護学	教授	大村光代	公益財団法人 笹川記念保健協力財団	看護師の経験知に基づく老衰に近い看取りの予後予測ツールの開発
リハビリテーション	理学療法学	助教	矢部広樹	一般社団法人 日本透析医学会	透析中の運動療法が生体の循環動態へ与える影響:透析中と非透析中の比較による検討

公開講座① 7月21日実施



「地域共生社会」の実現に向けて

本講座は静岡県社会福祉士会西部地区活動委員会との共催にて実施しました。前半は基調講演として、厚生労働省社会・援護局 地域福祉課 地域福祉専門官の玉置隼人氏より、地域共生社会の実現に向けた政策や具体的な取り組み事例についてお話をいただきました。後半は本学社会福祉学部の川向雅弘准教授のコーディネートにより、民生委員児童委員協議会の齋藤眞理氏、社会福祉法人天竜厚生会 地域福祉課の大杉友祐氏、浜松市社会福祉協議会 浜北地区センターの永井紀子氏によるシンポジウムを行いました。参加者からは、「国の政策の目指しているところがわかった」「地域で実際にあった具体的な事例についての話が聞けてよかった」などの声が聞かれました。

公開講座② 11月24日実施

「がんとともに、自分らしく生きる」ために
当事者が必要とする支援とは

前半は認定NPO法人オレンジティ 理事長の河村裕美氏・がんサバイバーのA氏より、がん患者が必要としているサポートについてお話をいただきました。後半は本学看護学部の井上菜穂美准教授・氏原恵子助教が加わり、がんとともに自分らしく生きるために必要な支援についてのシンポジウムを行いました。参加者からは、「がん当事者の率直な気持ちを聞くことができて大変参考になった」「がんと闘う人たちがどのような気持ちで日々を過ごしているのかを聞くことができてよかった」などの声が聞かれました。

地域貢献事業研究報告会・東京パラリンピック応援プロジェクト 11月3日実施

本学教員が2017年度に実施した地域貢献事業研究（地域の保健医療福祉の実践現場と共同で行う研究や地域との基盤作りとしての事業に関する共同研究）の報告会を聖灯祭・ホームカミングデーと同日に開催しました。

報告会はポスター発表形式で行い、本学の教職員のほ

か、在学生・卒業生・一般の方にお越しいただきました。また今年度は東京パラリンピック応援企画として、ボッチャ体験コーナーを設置しました。多くの方に来場いただき、お子さんを中心に保護者の方も一緒になってボッチャを楽しんでいました。



地域貢献事業研究報告会



ボッチャ体験コーナー

保健福祉実践開発研究センター “地域と歩む”をキーワードに、地域との共同事業・研究や専門職研修・市民公開講座を実施し、また地域に開かれた相談窓口となり、地域の保健医療福祉の更なる質の向上と課題解決のために積極的に活動しています。

聖隷学園だより

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

お相撲さんと触れ合って

9月27日、はごろも教育研究奨励会の助成を受け、こども園に翠富士（焼津出身）と錦富士、輝富士を招くことができました。「日本の伝統文化に親しみをもち、相撲あそびを通して身体と脳の固有覚を鍛える」という目的で企画し実現しました。

まず、お相撲さんの大きさと迫力にビックリした子どもたち。直接対戦をして、力強さも体感しました。園庭に作った土俵では、男性の先生が簡単に投げられてしまい、大人でも敵わないことを知りました。

実際にお相撲さんに触れ、「どうしたら



みんなで力を合わせて・・・

あんな風に強くなれるんだろう」とますます相撲に熱が入った子どもたち。特に年中児の中には番付も全て覚えている子どももいて、この企画後もそれぞれ四股名をつけ、室内でもテラスでも相撲三昧の毎日です。真剣勝負の中で、掌で相手の力を受け止めながら自分の力を加減し駆け引きをすることを知り、しっかりと固有覚も



保護者会ボランティアで作った本格的な土俵で



お相撲さんとちゃんごどんを食べました

刺激されているようです。

10月6日に行われたプレイデーでも、ミスベシャリティーという演目で相撲のトーナメントが行われ、手に汗握る大熱戦が繰り広げられました。スポーツの秋！神様にいただいた大切な身体を鍛え、それぞれの力をお互いに認め合う喜びに溢れる一日になりました。



プレイデーの様子

聖隷クリストファー中・高等学校

文化系部活の活躍

本校では18の文化系部活が多彩な活躍をしています。実績面で特筆すべきは、今夏、NHK杯全国高校放送コンテスト、ラジオドキュメント部門で優良賞（全国8位）に輝いた放送部です。「声×人」と題する7分の作品は、運動部員が様々な場面で発する「叫び・かけ声」を題材にしたものです。声の持つエネルギーと、そこから何らかの意味や命を汲み取るうとする制作者の試行錯誤が聴き取れる秀作でした。

聖隷福祉事業団の情報誌「すこやか&オアシス」の表紙を飾る写真の隅に「コラボ企画×聖隷クリストファー高校写真部」という文字があります。本校写真部の歴史は長いのですが、廃部寸前の

時期もありました。現在はカメラ女子たちが学期に2回ほど撮影会をして、このような発表の場もいただきました。校内行事でも、部員が撮影をする姿が見られるようになりました。

軽音楽部は部員数40余名。学年ごと3バンドずつに編成され、狭い部室を曜日で割り振って練習しています。5月に行われた第4回県高校軽音楽大会では3年生バンドがオリジナル部門3位となりました。

文化系部活では、部員たちのその分野へのこだわりと、それをうまく引き出し導こうとする顧問の熱とが「コラボ」して、充実した時間が生まれています。



放送部



聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校



校長からのメッセージ 開校3年目を迎えて

3期生が入学して半年近くが経ちました。今年度、専門学校では初めて留学生の入学がありました。入学前は学生同士が仲良くできるか、授業はこれまでと同じ方法で展開できるか等々心配をしていましたが、留学生二人はすぐに友達もでき、クラスの役員として礼拝を担当してくれ、日本語で書かれた聖書もしっかりと読んでくれています。また放課後はクラスメートと一緒に食事を楽しんだりしているようです。学生たちが出先から送付してくれる写真が、異文化交流を日常の中で楽しんでいることを実感させてくれます。

卒業した1期生は、今でもよく学校に顔を出してくれ近

聖隷クリストファー大学
介護福祉専門学校 校長

聖隷クリストファー大学
社会福祉学部 部長・教授

横尾 恵美子



況を報告してくれます。

これからも、本校が介護を学ぶすべての学生や卒業生にとって、あたたかで居心地の良い場所であり続けるために、隣人愛の精神を教育や学生支援の中で具現化していかなければと、心している毎日です。

就 活 体 験 記

早めに書類の準備や一般常識の勉強に取り組んで、心に余裕を持てるようにしました

2年次生 たかはし ふよう 高橋 芙蓉さん 内定先／聖隷福祉事業団(介護職)
静岡県立浜北西高校出身

私が就職活動を始めたのは1年次の3月中旬頃からです。募集要項を見て、エントリーシートなど必要な書類を揃えることから始めました。エントリーシートは、キャリア支援センターで何度もアドバイスをいただいたことで、自分の思いが伝わる文章にすることができました。

就職活動での工夫としては、早め早めに書類の準備や一般常識の勉強に取り組むことで、心に余裕を持てるようにしました。仲間同士で面接練習をしたり、勉強を教え合ったりすることで最後までくじけずに頑張ることができました。

内定をいただいた時に家族や友人から「おめでとう」と言ってもらえたことがとても嬉しかったです。内定をいただいたという自覚を持って、残りの学生生活は自分を磨いていきたいと思います。



就職・進学支援 就職・進学支援プログラムの予定や活動状況の詳細は、キャリア支援センターホームページをご覧ください。

2018年度卒業予定者の内定状況

速報

2018年度に卒業する学生の就職内定状況は、11月1日時点で既に100%です。

また、3名の学生が、学園内推薦編入学制度により、聖隷クリストファー大学社会福祉学部介護福祉学科への3年次編入が内定しています。

卒業 予定者数 (名)	大学 進学者数 (名)	就職 希望者数 (名)	就職 内定者数 (名)	内定率 (%)
23名	3名	20名	20名	100%

(2018年11月1日時点)

1年次生の就職・進学支援プログラムについて

専門学校は入学から就職活動開始までの期間が短いことから、1年次生の5月から「社会人になるための基礎講座」や「社会人マナー講座」などのプログラムを実施しています。11月から12月には、内定を得た2年次生による就職活動報告会や履歴書の書き方、面接の受け方など、さらに実践的な就職支援プログラムを予定しています。

『2年次生による就職活動報告会』

11月16日、1年次生を対象に2年次生による就職活動報告会を開催しました。2年次生の内定者5名から、就職活動を進めていくにあたり注意したことや反省点、これからの就職活動に向けての準備などについて、自身の体験を踏まえてお話いただきました。

お問合せ先／聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 キャリア支援センター
TEL:053-436-7233 FAX:053-437-6782 E-mail:career@seirei.ac.jp <https://blg.seirei.ac.jp/ssk/>

参加した学生からは、「1年次生のうちにどのようなことをしたら良いかが分かり、参考になった」、「就職や進学についての具体的なイメージが湧いてきた」、「自分の進路をしっかりと考え、今のうちからできることをやっていこうという気持ちになれた」といった声がありました。

『卒業生と在学生との懇談会』

11月20日、1期生を招き、現在就いている仕事の紹介ややりがいのほか、就職先を決定したプロセスや学生時代に考えておくべきこと、取り組んでおいた方がよいことなどについて、社会人としての視点でお話いただきました。

参加した学生からは、「国家試験や就職活動の進め方のほか、実際の試験や面接の様子などの貴重な話を聞くことができてよかった」、「早めに複数の施設を見学する必要性を感じた」といった声がありました。

キャリア支援センターでは、今後もこのような機会を設け、キャリアデザインの形成をサポートしていきます。



スポーツ・レクリエーション大会2018

7月19日、社会福祉学部介護福祉学科と介護福祉専門学校の共催によるスポーツ・レクリエーション大会(以下、スポレク大会)を開催しました。スポレク大会の企画・運営は、就職してから生かすことができる経験となるようにと、すべて学生が行いました。体を動かすスポーツからレクリエーション要素を含む種目を取り入れ、誰でも楽しめるようルールを変更するなど工夫がなされていました。参加者全員が交流を深め、笑顔で楽しんでいる姿が多く見られました。



事例研究発表会

介護実習Ⅰ(90時間)、介護実習Ⅱ(180時間)、介護実習Ⅲ(180時間)の実習が終了した2年次生は、7日間の集中授業を経て、介護実習Ⅲの介護過程展開事例をもとに発表の原稿、要旨、スライドを作成します。

事例研究発表会は、実習場面で生じた現象や問題を学内に持ち帰り、その意味を学問的に深めたことを伝える場であると同時に介護実習の総括の場となります。運営はすべて学生が行います。

8月8日に開催された事例研究発表会では、発表内容に学生一人ひとりの持ち

味が表れていました。当日は本校1年次生、大学教員、8施設の実習先の指導者12名、卒業生6名が出席し、質問やコメントをいただき介護福祉を深める充実した学びの場となりました。



ふじのくに ケアフェスタ2018

静岡県主催「ふじのくに ケアフェスタ2018」がツインメッセ静岡を会場に9月15日・16日に行われ、1年次生17名が参加しました。「ふじのくに ケアフェスタ2018」は静岡県の介護の魅力を発信することを目的としています。本校は学生による学校紹介や自らの介護観の発表を行いました。他にも、会場では就職相談や学校案内、家庭の介護のお悩み相談、介護福祉機器展など様々なイベントが行われ、学生自身が「介護」について理解を深める良い機会となりました。参加した学生が

らは「参加することで様々な機器を目にしたり、触れることで貴重な学びの機会となり、介護福祉士の在り方について考える良い機会となった」という声が聞かれました。



Life Data

PICK UP
留学生

1年次生
NGUYEN THI ANH NGA
グエン・ティ・アン・ガーさん
出身国:ベトナム

STUDENT VOICE

友人たちは日本語をわかりやすく教えてくれ、介護福祉の知識や技術を身につけることができます

日本に来て3年目になります。治安が良く、緑が多く空気がきれい、何より人が優しくて日本が大好きです。

学業はどんどん難しくなっていますが、新しい言葉、漢字を覚え、更に興味がわいてきました。友人たちは、難しい日本語をわかりやすく教えてくれ、介護福祉の知識や技術を身につけることができます。

近くの施設で週1回アルバイトをしています。施設の職員の方と一緒に利用者の支援をしたり、環境整備などを行っています。休日は、教会に行ったりスーパーで買い物をしたりして過ごしています。

卒業後は、利用者に「幸せになってもらいたい」、「元気になってもらいたい」という思いを持った介護福祉士になりたいと思っています。

08:30 朝の礼拝



礼拝係を担当しています。朝の礼拝時には司会進行をしています。

10:30 午前の授業



グループワークで調べたり発表をしたりします。

14:30 午後の授業



実習衣を着ての授業。秋セメスターは入浴・清潔保持、食事、排泄の支援について学んでいます。

CAMPUS LIFE
PHOTO
LIBRARY



後援会から 2018年度保護者懇談会を開催しました

保護者懇談会は、保護者の皆様と大学・専門学校とのコミュニケーションを深める場として、後援会の協力を得て開催しています。日頃お子さんが学生生活を送っているキャンパスにお越しいただき、教育環境や教育の現状、目的、課題などを知ってもらうとともに、学業、学生生活、就職、健康面などの疑問・不安などを解消していただく機会としています。2018年度は下記の日程で開催し、大変多くの保護者の皆様にご参加いただきました。心より御礼申し上げます。次年度の保護者懇談会の日程は、決定次第ホームページにてお知らせします。今年度ご参加できなかった皆様も是非ご参加いただければ幸いです。



全体説明会



昼食懇談会



教職員との個別相談



学内見学

■今年度の開催状況

開催日	学部など	参加者数	
6月 2日(土)	介護福祉専門学校	12組	13名
6月30日(土)	社会福祉学部	社会福祉学科	44組 51名
		介護福祉学科	15組 20名
		こども教育福祉学科	23組 31名
9月22日(土)	看護学部	看護学科	202組 242名
10月27日(土)	リハビリテーション学部	理学療法学科	65組 77名
		作業療法学科	58組 74名
		言語聴覚学科	55組 68名

保護者の皆様へのお知らせ

保護者満足度調査アンケートご協力のお願い

12月下旬に、後援会より保護者様宅へ「保護者満足度調査アンケート用紙」をお送りします。大学・専門学校の改善・改革につなげるため、是非回答にご協力くださいますようお願いいたします。郵便による締切は1月11日(金)、インターネットによる回答の締切は1月13日(日)です。大学1号館1階総務部前にも回収BOXを設けます。本調査は無記名アンケートにて実施いたしますので、率直なご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

2018年度卒業式・修了式および進就職パーティは3月12日(火)に行います

「2018年度卒業式・修了式」は、アクティビティ浜松中ホールにて、「進就職パーティ」は、グランドホテル浜松にて、2019年3月12日(火)に行います。

卒業年次生の保護者の皆様には、追ってご案内状をお送りします。多くの保護者の皆様のご出席をお待ちしています。



卒業式



進就職パーティ



新任教員の紹介

- ①出身校 ②前任校・前勤務先
③専門分野 ④メッセージ

看護学部(成人看護学)

いぬい ゆ き
乾 友紀 助教

①愛知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程②愛知県立大学看護学部③成人看護学(急性期)④周術期やクリティカルな状態にある患者の看護を考える成人急性期看護を担当します。皆さんの学びに貢献できるよう努力していきますので、どうぞよろしくお願いします。



看護学部(成人看護学)

こう の たかひろ
河野 貴大 助手

①聖隷クリストファー大学看護学部②聖隷三方原病院③成人看護学(慢性期)④主に成人看護学領域の実習および演習科目を担当させていただきます。皆さんの学生生活が充実したものとなるように精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。



著書紹介

『教員・訪問看護師・学生すべてが活用できる在宅看護の実習ガイド』

日本看護協会出版会 2017年3月

著者(編集):
大学院看護学研究科
かわむら さ わ こ
川村 佐和子 教授



日本在宅看護学会の学術集会などで、在宅看護を担当する教員と実践現場の訪問看護師とが「もっと充実した在宅看護実習をしたい」という話し合いを続けていました。そこで、数年前からこの課題に関心が深い会員たちが集まって、実習をより良くするための研究を重ねてきました。毎年の学術集会開催時には、研究成果の発表とともに、交流集会を開いてきました。その成果が本書に集約されています。「教員はこんなことを考えている」、「今の学生はこんな感じ」、「訪問看護師と教員が連携して学生を育成するためには」など、在宅看護の実習の豊富な事例報告と、まず考えておきたい4つのSTEPを整理し紹介しています。

お知らせ

Wi-Fi設備を強化し、Wi-Fiが繋がりがやすくなりました



学生満足度調査で多く寄せられたWi-Fi環境整備に関する要望にお応えし、本学ではすべての教室にWi-Fi設備を導入し、個人のパソコンについてもICTセンターにて登録していただければ、Wi-Fi接続することができます。同時にインターネットに接続できる台数には限りがあるため、授業でのWi-Fi利用を優先し、スマートフォンは学生ホールでの接続に限定しています。

そのため、2018年9月に学生ホールと学生ラウンジのスマートフォン設備をさらに増強して接続台数を増やしたことにより、混雑する昼食時でも繋がりがやすくなり、多くの学生さんにご利用いただいています。



2階学生ホール

2018年度 国家試験日程

	試験日	合格発表日
看護師	2019年 2/17(日)	2019年 3/22(金)
保健師	2019年 2/15(金)	2019年 3/22(金)
助産師	2019年 2/14(木)	2019年 3/22(金)
社会福祉士	2019年 2/ 3(日)	2019年 3/15(金)
精神保健福祉士	2019年 2/ 2(土) 2/ 3(日)	2019年 3/15(金)
介護福祉士	2019年 1/27(日)	2019年 3/27(水)
理学療法士	2019年 2/24(日)	2019年 3/25(月)
作業療法士		
言語聴覚士	2019年 2/16(土)	2019年 3/26(火)

学報へのご意見・ご感想をお寄せください

読者の皆様のご意見を参考に、より充実した内容をお届けできればと考えています。ご協力お願い申し上げます。

→<https://blg.seirei.ac.jp/d/>
携帯電話からもアクセスできます

